

# 株主の皆さまへ

To Our Shareholders

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2009年3月期のIDECグループの業績概況と今後の事業展開についてご報告申し上げます。

売上高

28,002 百万円

営業利益

1,461 百万円

経常利益

1,232 百万円

当期純利益

184 百万円

配当 (1株あたり)

35 円  
中間 25 円  
期末 10 円



## Q.2008年度の業績について教えてください。

A.2008年度後半のIDECグループにおける受注・売上高は、創業以来初めてといえる大幅な下落を記録し、本年1月より緊急対策を実施しています。

2008年度の売上高については、国内売上高が、182億4千6百万円(前期比16.9%減)、海外売上高は、97

億5千6百万円(前期比22.5%減)となり、連結全体の売上高は、280億2百万円(前期比18.9%減)となりました。

利益面では、継続的なコストダウン施策を推進していますが、期後半において収益率の高い主力製品群の売上が減少したこともあり、売上原価率は、前期に比べて1.4ポイント上昇(前期51.4%が当期52.8%)しました。また、販売管理費の削減にも努めましたが、大幅な減収による利益の減少を補うには至らず、営業利益については、前期比66.5%減の14億6千1百万円となり、経常利益は、年度後半での急激な円高進行による為替差損の発生もあり、前期比68.6%減の12億3千2百万円となりました。当期純利益は、投資有価証券評価損3億5百万円および持分法による投資損失3億7千9百万円を計上した影響もあり、前期比91.8%減の1億8千4百万円となりました。

## Q.業績低迷の背景は？

A.2008年度における世界経済は、米国発の金融システムの混乱が、世

界各国の実態経済の混乱にまで波及しました。日本においては、昨年秋以降の急激な円高進行の影響も受け、企業収益の悪化とともに、設備投資需要も急激かつ大幅な減少を示すなど、深刻な状況に直面しました。

また、IDECグループの主要顧客市場においても、電機・半導体・自動車関連業界をはじめとして、国内外ともに設備投資の凍結・抑制傾向が一層強まり、設備投資需要の減少は幅広い業種に広がりました。

そうした中、IDECグループでは、事業構造の改革とあらゆるコスト削減ならびに収益構造の改善に取り組み、企業体質の改革と強化を図ってきました。しかしながら、上記のような外部環境における需要の急激な減少と円高による影響を受け、前半は国内において、比較的堅調に推移していた主力の制御用操作スイッチ

や安全関連機器製品が、期後半においては一転して、大幅な需要の減少に転じました。これが、当期業績低迷の大きな要因です。

### Q.2009年度の経営方針は？

A. 今回の世界経済危機による実態経済の落ち込みは、外需依存度の高い日本経済に、急激かつ重大な影響を与えましたが、このような経済の状況と、当社グループ業績への影響は、少なくとも今年度いっぱいには続くものと予測しています。

そうした中で、IDECグループでは、急激な経営環境の変化にも柔軟に対応し、収益性を向上させることができる強固な経営体質の構築に邁進すると同時に、来るべき市場トレンドの変化にいち早く対応し、新たな成長を目指していきます。そのため、2009年度を「IDEC変革」の起点の年と位

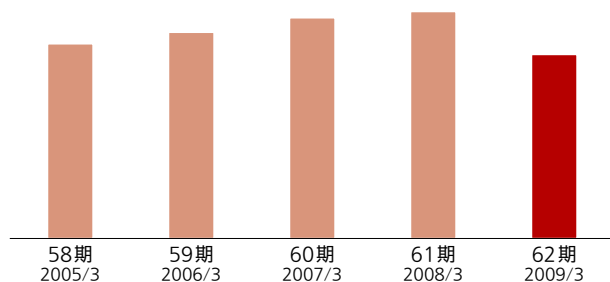
置づけ、新たな成長を実現するために、今、何をなすべきかを考え、IDECグループ丸となって、ひとつひとつの取り組みを着実に、かたちにしていきたいと考えています。

### Q.具体的な取り組みは？

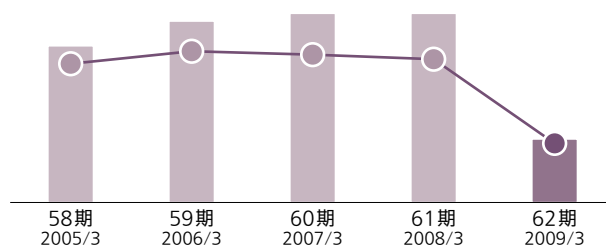
#### A. ①産業用制御コンポーネント事業分野のさらなる強化

中長期的に、主力製品において「グローバルで市場シェアNO.1」を目指すべく、まずは国内でトップシェアを誇る制御用操作スイッチを中心に、さらなるシェアの拡大を図ります。特に今年度においては、安全関連製品の主力製品でもある、非常停止用押ボタンスイッチを戦略商品と位置づけ、開発・生産プロセスにおける従来のシステムや考え方の枠組みを超えた新たなチャレンジを行うことにより、他社が追従できない商品競争力の

売上高				
(単位：百万円)				
29,626	31,377	33,584	34,536	28,002



営業利益および営業利益率				
(単位：百万円/%)				
3,610	4,180	4,359	4,366	1,461
12.2	13.3	13.0	12.6	5.2



# 株主の皆さまへ

To Our Shareholders

確立および“オンリーワン”ともいえる圧倒的な市場シェアの獲得を目指します。

## ②LED照明事業の拡大

LED照明をはじめとする、LED関連の応用製品事業は、環境配慮型社会への適合という点においても、今後の成長分野として広く期待されています。この分野においては、市場は急速に拡大傾向にあり、日本国内のみならず、世界各国のメーカーが参入するなど、その競争は激化しています。そのような環境ではありますが、当社が創業以来、培ってきた各種制御技術や、他社に先駆けて確立してきたLED応用製品の生産技術を基盤とし、LED照明のみならず、センサや電源、プログラマブルコントローラなどを含めた総合的な商品力・システム提案力をもって、他社との差別化を図り、LED照明事業をIDECグループ

の第2の事業の柱とすることを目指します。

## ③国内グループ会社の再編による競争力の強化

国内グループ会社を再編することにより、グループの総合力を活かし、競争力の強化を図ります。まず、LED照明事業と同じく、今後の成長分野として位置づけているバーコード関連ビジネスを含む、トレーサビリティ事業をさらに強化するため、従来その事業の主体を担っていたIDECオートメーション株式会社を解散し、当社に経営資源を集約しています。

さらには、ファクトリー・オートメーション分野の電源事業の強化や、新規事業分野のひとつであるLED照明用電源事業の拡大を目的に、IDECパワーデバイス株式会社を解散し、経営資源の集約を図っています。

また、2009年4月に新たなスター

トを切ったIDECエンジニアリングサービス株式会社は、今後、制御エンジニアリング機能の充実を図り、よりお客様に近いところで、タイムリーかつ最適な製品およびアプリケーションの提供を実施していくことにより、事業の拡大を図ります。また、同社は、IDECロジスティクスサービス株式会社とともにe-コマースを立ちあげ、IDECグループの新たな流通チャンネルを構築していきます。

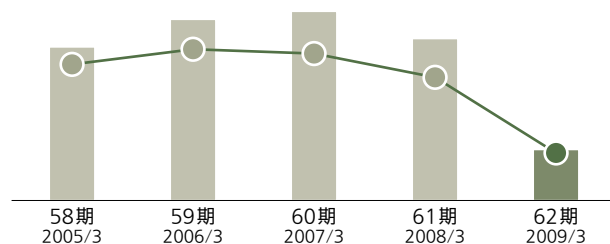
## ④海外事業展開・中国における生産販売体制の強化

海外市場においては、以前より中国市場を最重要マーケットと位置づけ、販売網の整備を推進してきました。2008年度においては、これまで高成長を続けていた中国経済も、その成長にかげりを見せましたが、今後早期に再成長が期待できる市場であると考えています。したがって、IDECグ

## 経常利益および経常利益率

(単位：百万円/%)

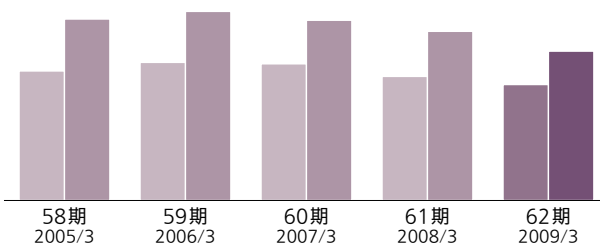
3,717	4,385	4,579	3,919	1,232
12.5	14.0	13.6	11.3	4.4



## 純資産・総資産

(単位：百万円)

28,865	30,777	30,457	27,652	25,837
40,438	42,143	40,166	37,700	33,279



ループでは、上海における地域統括機能を強化し、蘇州の生産子会社を現地生産・現地供給の拠点としての位置づけを明確にし、中国における生産・販売体制の連携を一層強化することで、マーケットのニーズにあった製品をタイムリーに市場投入し、さらなる販売の拡大を目指します。

#### ⑤CSRへの取り組みについて

当社は、1945年の創業以来、“企業活動を通じて、社会に貢献する”ことを経営の基本方針のひとつとしてきました。安全関連製品分野では、そうした長年の取り組みが評価され、“2008年度製品安全対策優良企業経済産業大臣表彰特別賞”を受賞しました。

また、2009年2月には、国連グローバル・コンパクト(10ページに関連情報を掲載しています。)への参加企業として署名しました。

今後も引き続き、社会貢献およびCSRに関する活動をさらに積極的に推進するとともに、そうした活動を情報開示していきます。

#### Q.株主のみなさまへ (配当方針は?)

A.当社においては、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、中長期的な観点で株主資本利益率や株主資本配当率の向上に努めてきました。一方で、内部留保についても、事業展開を考え、中長期的展望に立った研究開発投資、生産合理化投資、情報化投資等に有効活用し、企業体質と企業競争力のさらなる強化にも取り組んでいます。

当期末配当金については、1株当たり10円とし、中間配当金25円と合わせた年間配当金は、1株当たり35円とさせていただきます。

今後の配当方針については、引き続き中間・期末配当を着実に実施することを基本に、株主さまへの利益還元を重視したうえで、業績や外部環境などの変化に対応した機動的な配当政策を展開していきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

代表取締役会長兼社長

船木俊之

